

募集しています！



Dカフェ ~ROSE GARDEN~

認知症当事者とその家族、地域の方が
出会い、つながる語らいの場です。



2ヶ月に1回、久保山町で開催しており、当事者、ご家族、ボランティアを含め、8名前後が参加しています。

むかし聞いた音楽や趣味のお話で盛り上がりです。当事者や家族に分かれ、それぞれ相談することもできます。

サイフォンで淹れた美味しいコーヒーと香りに、癒されに来ませんか？

申込先：042-631-0071



とちの実の会 問合せ 042-696-5885 (たなべ薬局)



日にち 毎月第2金曜日
時 間 13:00～15:00
場 所 たなべ薬局 (久保山町2丁目31-3)
持ち物 自分が作っている作品

保育園に寄付をする
編みぐるみを作っています。
使わなくなった明るい色の
毛糸を募集しています。



認知症サポート一義講座 定期開催しています！

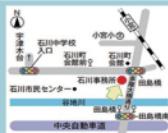
認知症について正しい知識を身につけ、ご自身の将来のそなえや、
認知症の方への接し方と一緒に学んでみませんか？

開催日：奇数月第2土曜日
時 間：10:00～11:30
会 場：はまちるサポート石川 交流スペース（石川事務所2階）
申込先：042-631-0071

要予約

令和7年度 開催日程

5月10日	7月12日	9月13日
11月8日	1月10日	3月14日



八王子市石川町481番地 石川事務所内

042-631-0071

9:00～17:30 開所
日曜・祝日・年末年始休み



八王子市から
委託を受けた
65歳以上の方向けの
総合相談窓口です！



高齢者あんしん相談センター石川

新しくなりました！



看護師の立川です！

今月より、高齢者あんしん相談センター住加から異動してまいりました。
「よく食べ、よく寝て、よく笑う」をモットーに日々過ごしています。
少しでも早く皆様に顔を覚えていただき、一人でも多くの利用者様が安心して笑って過ごせるような地域づくりを目指していきます。是非お気軽に声をかけてください。



今回の特集は…

「石川まちづくり会議」

です。

生きていく上で、「外出すること」は切っても切り離せない部分があるかと思います。
例えば、買い物に行く、お金をあつめ、人と会う、散歩する、趣味活動をする…などなど。
年を重ね、足腰が弱ってきたり物忘れが進んだとしても、私たちは様々な目的のために、日々外出します。

高齢者あんしん相談センター石川では、担当地域（高倉町・石川町・宇津木町・平町・小宮町・久保山町・丸山町全域、大谷町1～13番地、35番地、54番地、59番地、92～615番地、817～832番地、871～1108番地）にて、在住もしくは勤務されている方等にご参加いただき、「外出すること」をキーワードに、「石川まちづくり会議」を開催しています。

家族や自分が年をとっても、認知症になってしまって、「道に迷うから外に出ないでね」「お店に迷惑かけるから行かないで」と言わなくていい町にするにはどうしたらいいのか、どんな工夫だったら今からでも出来るのかを、様々な方の視点から話し合っています。

第5回目までは、以下の通りです。

第1回目

「年を重ねても住み続けたいまち」
にするには?をテーマに意見交換

第2回目

第1回目を踏まえ
「地域で具体的に
できること」を検討

第3回目

個人情報を他機関
で共有する事への
注意点などの講義
開催

第4回目

若年性認知症当事
者の方から、生活
の工夫などの講義
開催

第5回目

アルプス宇津木台
店を棲み歩き、「
安心して買い物
する」をテーマに
意見交換



会議の詳細をお知りになりたい方は、
当センターに会議をまとめた資料が
ございますので、是非ご来所ください。

第6回目のは
中のページへGO！

第6回 石川まちづくり会議

～年を取っても認知症になってしまって
安心して外出できるまちを目指して～



まちづくり会議 コンビニ編！

「外出すること」をキーワードに、開催している「石川まちづくり会議」！

第6回となります今回は、地域になくてはならない存在のコンビニエンスストアのオーナーさん・店長さんにお越しいただき、令和7年2月19日に開催しました。



オーナーさんと店長さんからは、日頃の業務やお客様の対応についてお話を伺いました。



また、業務の都合で、当日会議に出席することができない方も多くいらっしゃいました。

このため、事前にアンケートをお配りし、担当地域のセブンイレブンとファミリーマート14店舗の方々に、ご協力をいただきました。

アンケートでは、「心配な方が来店された際、どのような対応をされますか？」などを質問しました。
回答は「ゆっくり話して説明する」「手伝う」などが多數でした。

アンケートは
イコータネットから
回答いただきました！

アンケートを通して、コンビニエンスストアで働く方々は、子どもから高齢者など様々な世代の方へ、気にかけ、親切にご対応下さっていることがわかつてきました。



アンケートや
合説が分かった

コンビニエンスストアの店舗さんが感じる心配のこと

少しやせたかな？と感じる
ATMやコピー機で困っている



同じものを何度も買いに来る
日に何度も来店する

などレジを打ちながらもきめ細かい視点で見守って下さり、困っていたら声をかけて下さっています。

最近は、詐欺にあっているのではないかと疑わしい方へは積極的に声をかけ、未然に防ぐこともあります。駐在さんとも連携されているそうです。



高齢者あんしん相談センターとのつながり

地域で心配な方を必要な機関につないでくださることで、その方へ支援が届きます。コンビニエンスストアの方が「困っているお客様」を見つけて下さり、高齢者あんしん相談センターへ連絡をくれることで、私たちは支援にななぐことができます。

「双方の連携について」「セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂「地域活性化に関する包括連携協定」」について、話し合いを行いました。

地域活性化に関する包括連携協定
市と企業が連携し、地域活性化や市民サービス向上を推進するため、店舗スペースの活用や、見守り活動、学生のための職場体験の提供など、その協力内容は9項目にわたります。詳細は八王子市ホームページをご覧ください。



あししん見守りシート

「こしこなは当センターにご連絡ください」という、
全7・2項目の高齢者本人・家族・家の様子一覧。



以前高齢者あんしん相談センターで作成した「見守りシート」を店舗に置いて、気にかけて下さっているとお聞きしました。地域の方々の見守りについての関心の高さにありがとうございます。

当センターのリーフレットを置いてくださった店舗もありました。お忙しい中、会議に参加して下さったオーナーさん、店長さん、ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。取り組みについてはこれからですが、会議を通してお近づきになれたことが大きな一歩だと思っています。

